

第17回 アシタシア サロン

越境が、まち・むら・ひとを強くする ーフリンジからのしなやかな変革ー

未来志向の
自治体職員
まちづくりリーダー
必聴！

愛知大学において、長く行政経営の視点から、越境研究とその実践を進めてきた戸田敏行教授(地域政策学部)が、その幅広い研究活動から、「越境と地域」の関係を語ります。

「越境」という計画圏域の広域化が、地域・ひとの自立につながるというパラドックスを読み解く講演会・鼎談は、自治体職員、まちづくり関係者、そしてビジネスパーソン、学生の皆様も必聴です。
「越境人材の育成」を標榜するアシタシアの原点を考えるサロンに、ぜひ、ご参加ください。

2026年 **11月27日(金)**
18:30～20:20(予定) 開場 18:00

会場：愛知大学名古屋キャンパス
講義棟4階L405教室
(名古屋市中村区平池町4-60-6)

※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

参加費 **無料** 定員**200名** 申込先着順

申込 2026年11月24日(火)までに右の二次元コード
または下記URLのアシタシア公式サイトより
会場参加登録をお願いします。
※先着順・メールアドレス必須



https://www.aichi-u.ac.jp/asitasia/event_salon

言語 日本語

プログラム

- 開会挨拶・講演者紹介 (18:30～18:35) 愛知大学ささしま地域連携研究センター センター長
/同経営学部教授 太田幸治

- 基調講演 (18:35～19:20)

演題：「越境する地域計画の試行」



戸田教授
略歴

愛知大学
地域政策学部教授
三遠南信地域連携研究
センター センター長

1956年兵庫県生まれ。豊橋技術科学大学大学院博士課程環境・生命工学修了、博士(工学)。公益社団法人東三河地域研究センターを経て、2011年より愛知大学地域政策学部教授、三遠南信地域連携研究センター長(2013年～)、文部科学省共同利用・共同研究拠点「越境地域政策研究拠点」研究代表(2013-2018)。主な著書：『県境を越えた開発』(共編著／日本放送出版協会、1989年)、『DX時代の広域連携』(共編著／学芸出版社、2024年)、『軽トラ市ーまちが活きる可動商店街』(編著／交文社、2024年)など。

戸田敏行 教授

- 鼎談 (19:20～20:15)

テーマ：「越境から自律的地域づくりへの展開は可能か」

(登壇者)

戸田敏行 愛知大学 地域政策学部教授、三遠南信地域連携研究センター センター長
岩崎正弥 愛知大学 地域政策学部教授
穂積亮次氏 元新城市長

(鼎談登壇者紹介)

穂積亮次氏



1952年東京都生まれ。
2004年旧南設楽郡鳳来町長、2005年旧新城市、鳳来町、作手村の合併により誕生した現新城市初代市長、以後2021年まで4期16年務める。
著書に『自治する日本～地域起点の民主主義』(2016年／朝書房)他

岩崎正弥 教授



1961年静岡県生まれ。
京都大学大学院農学研究科農林経済学専攻博士課程修了(農学博士)。
研究テーマは地域づくり論、戦後農山村社会史、農本思想研究。
主な著書に『農本思想の社会史』(単著)、『場の教育』(共著)

- 質疑・閉会挨拶 (20:15～20:20(予定)) 愛知大学ささしま地域連携研究センター
/同法学部准教授 加藤洋平

